

令和2年度

第1回いじめ等に関するアンケート調査結果報告

令和2年10月

福島県立郡山支援学校
いじめ防止対策委員会

[アンケートの質問内容]

自分(じぶん)のことについて、当(あ)てはまるものすべてに○(まる)をつけてください。	
(1) 気(き)になることや悩(なや)んでいることについて	
1	学校(がっこう)や友達(ともだち)のことで、気(き)になることや悩(なや)んでいることがある。
2	家族(かぞく)や家庭(かてい)のことで、気(き)になることや悩(なや)んでいることがある。
3	その他(た)のことで、気(き)になることや悩(なや)んでいることがある。
4	学校(がっこう)に行(い)きたくないと思(おも)う。
5	いつも悲(かな)しい、苦(くる)しい気持(きも)ちになる。
6	気(き)になることや悩(なや)んでいることを相談(そうだん)できる人(ひと)がいない。
(2) 友達(ともだち)関係(かんけい)について	
1	冷(ひ)やかし、からかい、悪口(わるくち)を言(い)われた。
2	仲間(なかま)はずれにされたり無視(むし)されたりした。
3	叩(たた)かれたり、ぶつかられたり、蹴(け)られたりした。
4	お金(かね)や物(もの)をとられたり、おごらされたりした。
5	物(もの)を隠(かく)されたり、乱暴(らんぼう)に扱(あつ)われたり、壊(こわ)されたりした。
6	嫌(いや)なこと、危険(きけん)なこと、恥(は)ずかしいことをさせられた。
7	メールやSNS(エスエヌエス)に、嫌(いや)なことを書(か)かれたり画像(がぞう)をのせられたりした。
8	いじめられている人(ひと)を見(み)たり聞(き)いたりしたことがある。
9	そのほか、友人(ゆうじん)関係(かんけい)のことで困(こま)っている。

小学部	(1)-1	(1)-2	(1)-3	(1)-4	(1)-5	(1)-6	(2)-1	(2)-2	(2)-3	(2)-4	(2)-5	(2)-6	(2)-7	(2)-8	(2)-9			回答者数	配付数	回収率	前年度 回収率
小学部	0	7	1	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1			72	72	100%	100%
中学部	3	4	2	1	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	1			55	56	98%	100%
高等部	3	1	2	6	4	2	0	0	0	0	0	0	0	1	1			50	50	100%	100%
計	6	12	5	9	6	5	0	0	0	0	0	0	0	1	3			177	178	99%	100%

回答の概要	【回答の主な要因】 《小学部》 友達との関係、家族との関係、家庭生活（ホームシック）、成長による体型の変化、コロナ禍における心配事。 《中学部》 友達との関係、家族との関係。 《高等部》 友達との関係、家族との関係、自身の成長、進路活動への不安、メディア等からの情報による不安。 【いじめ防止に関する調査について】 いじめとして認知されるものはなかった。
まとめ	いじめとして認知されるものはなかったが、いじめは目につきにくい場所や時間に行われたり、遊びやふざけあいを装って行われたりするなど、教師が気付きにくく判断しにくい形で行われることがある。学校としては、日頃から児童生徒の見守りや信頼関係の構築に努め、児童生徒が示す変化や危険信号を見逃さずに、面談やアンケート調査を通して、生徒がいじめを訴えやすい環境を整え、積極的にいじめの実態把握に取り組んでいかなければならない。今後もいじめの未然防止に努め、早期発見と早期対応、組織的対応に力を入れていく。また、事案が発生した場合は、聞き取りにおける記録の徹底を図り、時間と回数を重ねて、事実をきちんと確認して対応していく。 学習や進路に関することを悩みとする児童生徒には学部、教務部、進路指導部と連携を図り、当該児童生徒のバックアップに努める。 コロナ禍によって不安感を抱く児童生徒も確認されたため、さらに児童生徒の心のケアに努め、引き続き経過観察を行っていく。 第2回のアンケートは12月の実施を予定している。